ふくさき

議会だより
第139号
平成28年
8月18日
兵庫県福崎町議会

「七夕集会・演劇」福崎小学校

6月定例会…2
委員会報告…5
一般質問…8

第467回 定例会

今後10年の都市計画決まる

6月定例会は6月10日に招集され、24日まで15日間の会期で開かれました。今定例会では、町から提出された都市計画マスタープランや第一体育館の耐震改修工事契約などの議案、請願について審議を行いました。

一般質問は、6月22日に行われ、5議員が町政全般にわたり質問しました。

都市計画マスタープラン改定

都市計画マスタープランは、本町のまちづくりの現状と課題を整理し、まちの将来ビジョンや土地利用、道路等の都市施設のあり方を明確にして、まちづくりの目標と分野別の基本方針を定め、今後10年の取り組み内容を示すものです。

○本会議での主な質疑○

議員　「コンパクトなまちの形成に努める」とあるが、どういうことか。

まちづくり課長　人口減少が続く中では、市街化区域でも空洞化が進むと考えられます。無秩序に市街化区域を全て残すのではなく、公共交通を利用できる、集約されたところに住んでいただき、人口密度を維持しながら、生活の利便性も高めていくという考え方です。

議員　中心部はよくなるけれど、周囲はだんだん利便性が悪くなっていくのではないかと心配している。そういう点については、どうか。

まちづくり課長　福崎町は十分にコンパクトな町であると考えています。市街化区域だけでなく、市街化調整区域も農業を守っていくため、集落の活力を維持する必要があると考えています。福崎町では、更に利便性を高める目的で、立地適正化計画に取り組む予定です。

議員　人口の維持を目指す中で、福崎町が目指す目標は。

町長　既存の市街地と新市街地の共栄、町のネットワーク化、安全・安心なまちづくり等を目指しており、マスタープランにお示ししています。

委員会に付託し審議

都市計画マスタープランは、民生まちづくり常任委員会に付託されました。

【委員会での主な質疑】

Q.　「柔軟な都市計画制度の運用による人口減少の抑制」とあるが、具体的には。

A.　特別指定区域制度や空き家施策の推進、また適した用途地域への変更が考えられます。中島井ノ口線以西の市街化調整区域の活用や、工業団地の拡充等に積極的に取り組んでいきます。

Q.　道路網について、今後の方針は。

A.　平成30年度に駅周辺整備が完了すると、次の課題として福崎駅田原線、大門福田線の代替路線の検討が必要になってきます。この区間は橋を架けなければならず、非常に大きな財源が必要になります。県とも協議しながら、検討を進めます。

Q.　公共施設（小規模校等）の統合の考えは。

A.　福崎町は廃止すべき、統合すべき施設はありません。古くなった施設をどう長寿命化させていくかという計画を作ることになります。

特別指定区域制度とは？

都市計画法により、市街化区域は開発を促進し、市街化調整区域では開発の抑制により自然環境や農林業を保全すると定められています。

市街化調整区域では、厳しい建築制限等から人口が減少している地域が見られます。人口減少への対応のため「特別指定区域制度」が創設されました。

町や地域が将来を見据えた土地利用計画を作成することで、都市計画法の制限が緩和され、市街化調整区域内に地縁者等の住宅を建てることが可能となります。この制度を活用することで、人口増加（維持）に繋がることが期待されています。

駅前駐輪場　廃止へ

福崎駅前の駐輪場等の取扱について定める「福崎町交通広場の設置及び管理に関する条例」が改正されました。今回の条例改正によって、駅前駐輪場（3月末で閉鎖済み）が、7月1日をもって正式に廃止となります。

駐輪場跡地は、商業施設を誘致し、駅前の賑わい創出のために活用される予定です。

一般会計補正予算を可決

一般会計は歳入歳出それぞれ1830万円追加して総額95億4830万円としました。

今回の補正予算の内容は、NPO法人の設立等の補助金、妖怪造形コンテスト関連事業費をはじめ、観光振興計画の策定や、観光振興全般に関する委託料を予算化したものです。

審議の結果、全員賛成により原案のとおり可決しました。

NPO法人とは？

非営利団体・非営利組織の略称。福祉・医療、環境保護やリサイクル、災害復旧等の分野で活躍する、私的利益を目的としない民間団体のこと。

今回の補正予算では、NPOの設立手続きに係る費用等や、初期活動支援として需用費・備品購入費等の補助を定める内容の補正予算が提案され、可決されました。

第一体育館　耐震化工事へ

第一体育館の耐震化工事にかかる請負契約についての議案を審議し、原案のとおり可決しました。工事の概要については左のとおりです。

なお、第一体育館は7月1日から全ての施設利用（駐車場を含む）及び立ち入りができなくなります。また、事務所はスポーツ公園管理事務所へ移りますので、ご注意ください。

○工事期間　平成28年6月16日
　　～平成28年12月28日
○落札業者　前川建設(株)
　　（加古川市野口町良野1506番地）
○落札金額　1億4580万円

第一体育館（7月12日撮影）

請願は継続審査に

「消費税10％への増税中止を求める意見書提出についての請願」について審査を行いました。

増税を中止することによる地方行政への影響が大きいこと等から、継続して審査することに決定しました。

臨時議会で　副議長等を選出

高井國年議員の副議長辞任により、第468回臨時議会が7月21日に開催され、副議長選挙が行われました。

投票の結果、宮内富夫議員が副議長に当選しました。

なお、任期は平成29年4月末までです。

副議長
宮内富夫

また、副議長の選任により、空席となった監査委員に城谷英之議員が就任しました。

監査委員
城谷英之

その他の主な構成変更は左の通りです。

民生まちづくり常任委員長
北山孝彦

議会広報常任委員
高井國年

●出席状況●

会議名 ＼ 議席番号・議員名	1 宮内富夫	2 三輪一朝	3 牛尾雅一	4 志水正幸	5 松岡秀人	6 城谷英之	7 北山孝彦	8 山口純	9 石野光市	10 小林博	11 冨田昭市	12 釜坂道弘	13 高井國年	14 難波靖通
臨時議会（7月21日）	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○

注「○」は出席、「欠」は欠席です。

第467回 定例会提出議案と審議結果

（町長提案）

議案等番号	件　　名	審議結果
報告第 6 号	平成27年度兵庫県町土地開発公社事業報告	「報告」は質疑を行いますが、討論・採決はありません。
報告第 7 号	平成27年度福崎町一般会計予算繰越明許費にかかる繰越計算書の報告	
報告第 8 号	平成27年度福崎町公共下水道事業特別会計予算繰越明許費にかかる繰越計算書の報告	
議案第38号	専決処分の承認を求めること（福崎町町税条例等の一部を改正する条例）	賛成全員 可決
議案第39号	専決処分の承認を求めること（福崎町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	賛成全員 可決
議案第40号	専決処分の承認を求めること（行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部を改正する条例）	賛成全員 可決
議案第41号	中播公平委員会委員の選任	賛成全員 同意
議案第42号	福崎町交通広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	賛成全員 可決
議案第43号	福崎町都市計画マスタープラン	賛成全員 可決
議案第44号	平成28年度福崎町一般会計補正予算（第1号）	賛成全員 可決
議案第45号	工事請負契約（福崎町第一体育館耐震改修工事）	賛成全員 可決

（議員提案）

請願第 2 号	消費税10％への増税中止を求める意見書提出についての請願	継 続 審 査

●定例会における出席状況●

会議名 ＼ 議席番号・議員名		1 宮内富夫	2 三輪一朝	3 牛尾雅一	4 志水正幸	5 松岡秀人	6 城谷英之	7 北山孝彦	8 山口純	9 石野光市	10 小林博	11 冨田昭市	12 釜坂道弘	13 高井國年	14 難波靖通
本会議1日目（6月10日）	出欠の状況	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
本会議2日目（6月12日）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務文教常任委員会（6月15日）		ー	○	○	○	ー	ー	ー	ー	○	ー	○	○	ー	○
民生まちづくり常任委員会（6月16日）		○	ー	ー	ー	○	○	○	○	ー	○	ー	ー	○	○
福崎駅周辺整備対策特別委員会（6月17日）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
本会議3日目（6月22日）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
本会議4日目（6月24日）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○

注1　「○」は出席、「欠」は欠席、「※」は遅着及び早退です。
注2　委員会の出欠については所属する委員のみ表示しており、「ー」の委員は出席の必要はありません。
注3　難波議員は、総務文教常任委員会以外の委員会には議長として出席します。

ふるさと納税
記念品の協力事業者を募集

ふるさと納税（福崎町ふるさと応援寄附金）により寄附をされた方に、お礼の品として進呈する記念品の協力事業者を募集しています。地元特産品等のＰＲによる産業振興と、ふるさと納税を促進することを目的としています。町のホームページ等に記念品が掲載されますので、協力事業者のＰＲにもつながります。

記念品に加わった「電動車いす」

応募要件

福崎町内に事業所等を有し、以下の商品やサービスが提供可能な法人または個人

- 福崎町内で生産、製造、加工、販売、提供される商品、サービス
- 適法な手続きをして許認可された商品
- 飲食物の場合、寄附者に到着して5日以上の消費期限・賞味期限が保証される商品

役場のＪＡ窓口　公金受入のみに

役場内のJA窓口の取扱いが変更されます。窓口では公金受入のみとなり、貯金の出し入れは新たに設置されるATM（現金自動預け払い機）をご利用ください。

なお、稼働時間は役場の開庁時間に合わせ、平日の8時30分から17時15分までとなります。また、キャッシュカードのない個人等については兵庫西農協各支店での取扱いとなりますので、ご注意ください。

今年もトライやる・ウィーク

福崎東中学校104人、福崎西中学校73人、合計177人の中学2年生が、6月6日から5日間、トライやる・ウィークに参加しました。町内62事業所にご協力いただき、様々な活動や体験を通して、自分なりの生き方を見つけるきっかけになるよう期待しています。

田原幼児園での保育士体験

委員長　志水正幸
副委員長　石野光市
委員　牛尾雅一
委員　釜坂道弘
委員　冨田昭市
委員　難波靖通
委員　三輪一朝

● 閉会中における委員会出席状況 ●

会議名＼議員名	三輪一朝	難波靖通	冨田昭市	釜坂道弘	牛尾雅一	石野光市	志水正幸
総務文教常任委員会（4月19日）	○	○	○	○	○	○	○
総務文教常任委員会（5月25日）	○	○	○	○	○	○	○

注 「○」は出席です。

福崎工業団地に企業進出

2社が工業団地へ進出申込

トンボ工業㈱及び㈱デービー精工から、福崎工業団地への進出申し込みがありました。現地視察を含め慎重に審査した結果、委員会として進出を了承することとしました。

なお、企業及び進出の概要については下記のとおりです。

トンボ工業㈱ 本社工場　視察状況

㈱デービー精工

本　　社：姫路市香寺町
製 造 品：電気自動車等のモーター部品
地元採用：5人（予定）
工事着工：平成28年9月頃
操業開始：平成29年7月頃

トンボ工業㈱

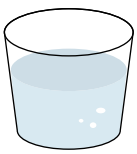
本社：明石市硯町
製造品：ショベル、スコップ等
地元採用：2～3人（予定）
工事着工：平成28年6月頃
操業開始：平成28年12月頃

福田水源地の水道水　一部白濁

平成26・27年度で高度浄水設備を導入した福田水源地の水道水の一部に白濁現象が見られました。原因を調査したところ、白濁は水道水に空気が溶け込んだものであり、健康に影響するものではないとの報告を受けました。

現在、原因と考えられるポンプは使用を停止しており、交換に向け準備を進めています。

交換等にかかる費用はすべて業者が負担しますので、新たに町の負担は生じません。



【委員会での主な質疑】

Q．白濁の影響範囲は。

A．山崎や馬田等、川西の一部から4～5件の苦情がありました。

Q．福田水源地の工事の結果、水道水に白濁現象がでている。しかし、工事関係の支払いは完了している。何故か。

A．設計に基づいた基準通りのものができあがり、工事は完了しています。このため支払いは完了しました。白濁現象の解消は業者が責任を持って対応するということで、確約書をもらっています。

委員長　城谷英之
副委員長　小林博
委員　北山孝彦
委員　高井國年
委員　松岡秀人
委員　宮内富夫
委員　山口純

● 閉会中における委員会出席状況 ●

会議名＼議員名	難波靖通	山口純	宮内富夫	松岡秀人	高井國年	北山孝彦	小林博	城谷英之
民生まちづくり常任委員会（4月22日）	○	○	○	○	○	○	○	○
民生まちづくり常任委員会（5月26日）	○	○	○	○	○	欠	○	○

注1　「○」は出席、「欠」は欠席です。
注2　難波議員は、議長として出席しています。

駅前に観光交流センター整備

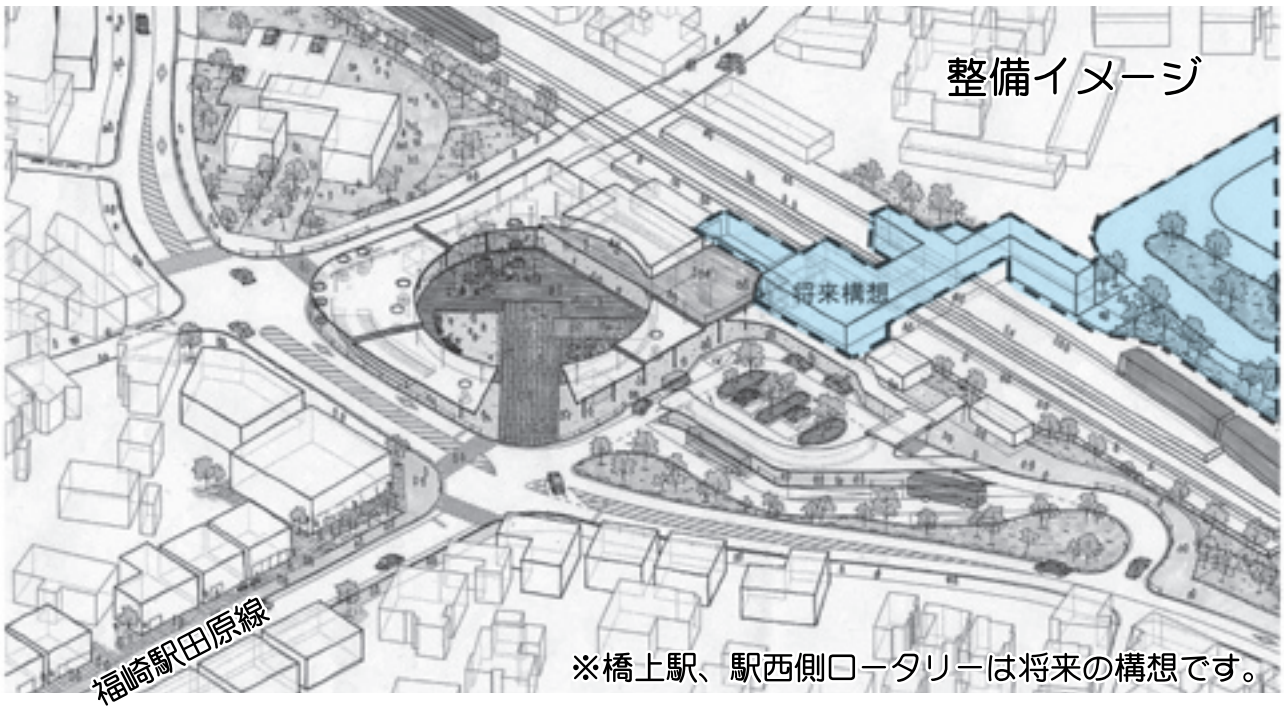
新たな駅前のイメージ　明らかに

新たな駅前のイメージパースが発表されました。新たな駅前には交流広場や観光交流センターが整備され、南側の町有地には商業施設を誘致する方針です。

なお、将来構想として福崎駅の橋上化、駅西側の整備も考えていくとのことです。

国からの補助金交付決定

国から認定された総事業費は8億9千万円で、国から道路事業で2億7千万円、都市再生整備事業で8千万円、合計3億5千万円（補助率40％）の補助金が交付決定されました。国庫補助金に加え、土地開発公社資金等も活用し、計画通りに事業を進められるよう努めるとのことです。



福崎駅田原線　用地取得に着手

福崎駅周辺整備事業にかかる用地取得状況（平成28年6月10日現在）について報告がありました。事業は順調に進んでいます。なお、今年度から福崎駅田原線の事業に着手するため、用地取得対象に追加されました。

	契約済	取得完了	
駅南幹線	12筆	9筆	947㎡
甘地福崎線	22筆	20筆	1,877㎡
福崎駅田原線	0筆	0筆	0㎡
駅前広場	6筆	6筆	360㎡
合計	40/69筆	35/69筆	3,184/12,396㎡

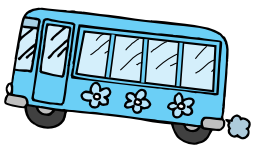
バス運行社会実験　利便性向上を

4月1日から、福崎駅前～福崎工業団地・企業団地間のシャトルバス運行社会実験が実施されています。

利用状況は下記のとおりです。

・4月（平日）17.2人／日

・5月（平日）46.9人／日



5月から外国人研修生の利用が増えたため、4月と比較し、利用者が大きく増加しています。

これからも、神姫バス㈱と協議を行い、バス停の追加や運行日・運行本数の調整等、利便性を向上させ、利用人数を増やしていくとのことです。

ここが聞きたい

一般質問

5人の議員が町政を問う！

「一般質問」は、公の場である議会で、議案に関係なく町長の考え方や町政をただす大切な場です。

熊本地震を教訓にした福崎の地震対策は

町での地震を想定し防災対策に取り組みます

志水正幸

問　熊本地震は、2度の震度7の地震と2カ月以上の余震が続くなど、異例ずくめであった。「支援物資が届かない。長期にわたる余震から車やテント生活による疲労も限界で、健康状態に異常が出ている。また、土砂崩れや田畑・河川の損壊による大規模の被害も発生している」。同程度の地震が本町で発生した場合、現行の防災対策で十分か。

住民生活課長　支援物資の配分、避難者の把握など熊本地震の問題を踏まえ、県の地域防災計画の改定に沿って本町の防災計画を見直します。

問　熊本地震も家屋の倒壊が多い。耐震診断も耐震化工事も一定の補助があるが、工事費が高額なために耐震化工事が進んでいない。簡易耐震診断を無料で実施できないか。

まちづくり課長　耐震診断と耐震工事も実績が少なく、耐震診断の無料化について検討します。

問　土砂災害危険箇所はどれくらいあるのか。

まちづくり課長　警戒区域が92カ所あります。県が特に危険度の高い区域を順次調査しており、平成31年度までに完了することになっています。

問　決壊の恐れのある「ため池」は、どれくらいあるのか。

農林振興課長　ため池耐震調査で、桜上池、三谷池、直谷池は、工事着手に取り組んでおり、その他の池で要改修と判定された池は4カ所です。現在のところ具体的な改修要望は、ため池管理者から聞いていません。

福崎町防災マップと兵庫県防災パンフレット

合計特殊出生率2・07への具現化は

財源確保の研究を進め、早期に実施します

三輪一朝

問　総合戦略では少子化対策が喫緊の課題とされ、2040年に合計特殊出生率（以降「出生率」）2・07を目指すとし、出産祝金などの施策案を計画している。本町も出生率対象の女性人口が2020年から2040年の間に30％減少し、出生数が激減するとされている。喫緊の課題ならば、出生率2・07の達成を早期に目指すことはできないのか。

町長　各種の取り組みを進めるとともに、財政面の研究も進め、早期に実施します。

問　岡山県北部の奈義町が2014年に出生率2・81を達成した。妊娠出産期から乳幼児期就学期にわたる幅広く充実した施策を構築している。福崎町では出生率向上策をどのように行うのか。

企画財政課長　奈義町とは生活環境等が異なりますが、各種の子育て支援等の施策を講じています。また、若い方が住み続けていただけるよう福崎町総合戦略におけるアクションプランの取り組みを進めます。

問　奈義町と同様に18歳までの子ども1人当たり14万円の子育て支援施策を行うと仮定すると、年間3億円超の財源を要する。地方公会計制度、ふるさと納税制度などの新しい制度への基本的な姿勢と、今後の財源確保の方向性は。

企画財政課長　これらの制度を整備活用し、「限られた一般財源を賢く使う取組」と第5次行財政改革大綱の実施とあわせ財源確保を図ります。

事業名	概　要
出産祝金	第1子10万円・第2子15万円・第3子20万円・第4子30万円・第5子以降40万円
不育治療助成	年30万円×5年間
保育料多子軽減	保育料は第1子を国基準額の55％・第2子半額・第3子以降無料（所得制限なし）
高等学校等就学支援金	生徒一人当たり年額9万円×3年間（所得制限なし）
子どもの医療費無料	高校生まで（所得制限なし）
予防接種無料	おたふく風邪・B型肝炎・ロタウイルス・風疹

奈義町の子育て支援施策（抜粋）

国保県営化で保険税はどうなる

基金を活用し値上げを抑えるよう努めます

小林　博

問　国保の27年度決算見込みの基金残が大きい。被保険者に還元を。

町長　翌年度以降の保険税調整額に使います。

問　国保県営化（30年度）で税等はどうなるか。

健康福祉課長　福崎町は料金（税）が上がる可能性が高いと考えます。

問　一般会計から繰入や単独事業は認められるか。基金は町に残し使えるか。

健康福祉課長　法定外繰入はなくす方向で、基金は町に残り、単独事業は可能です。

問　水道会計は財政計画では資金残高が年間水道料金収入の3年分前後を維持できる。当分の間の値上げは無いのか。下水道は全町敷設が終わったところで急な値上げはしないとの町長表明はその通りか。工業用水は一定の資金が残るので現行の料金で良いのでは。

公営企業参事　水道は現行のままで、工業用水は引上げの検討が要ります。

町長　下水料金は現行のままで接続を進めます。

問　水害対策で高校周辺の排水対策の具体化は。神崎橋南右岸の無堤防地域の対策強化を。

まちづくり課長　高校グランドの調整池利用は9月完成です。神崎橋南は県に強く要望していきます。

問　障がい児の学童保育的な支援を強めてほしい。

町長　将来的には第1デイサービス利用が考えられます。

問　播磨中枢都市圏構想は将来姫路に施設等が集約され、地方がさびれる心配との指摘もあるが。

企画財政課長　圏域全体の活性化を図るものです。

福田水源地

減塩を食育に生かし健康長寿をめざせ

減塩に関する取り組みを増やします

石野光市

問　長野県では30年前から一貫して減塩（ナトリウムを食生活で減らしカリウムを含む野菜の摂取を推奨）し、今や長寿県で高齢者の就業率や一人あたり医療費でも大きな成果をあげている。当町の食育にも減塩を積極的に生かすべきではないか。

厚労省の食事摂取基準では食塩換算で成人男性8g、女性7g（目量）としている。こうした周知と啓発をすすめては。

学校教育課長　給食の取組みについて教職員の理解を促し、児童、生徒及び保護者に周知します。

健康福祉課長　各種の取組みに減塩を増やす等、工夫します。

問　昨年4月、要支援1・2の方の介護保険サービス外しが起こり、市町でサービスに差が生まれていると聞くが、どうか。経済実態からも負担増を避けるべきだ。

健康福祉課長　当町では経過措置を生かし今年度末まで介護保険サービスの枠で実施します。来年度から町事業での実施となりますが、負担増とならぬよう努めます。

問　マイナンバーの役場文書への記載について政府見解で①強制されない②記載しないことによる罰則はない③記載しないことによる不利益取扱いはされない―が示されている。強制と受け取られない対応を求める。

総務課長　政府見解はそうです。住民への説明も求められています。

問　TPPで国保等と、農業振興に影響はないか。

副町長　懸念はあります。

標準栄養成分

1包装・150gあたり	
エネルギー	150kcal
たんぱく質	16.8g
脂質	0.9g
炭水化物	18.6g
ナトリウム	1.3g
（食塩相当量	3.3g）

食品包装に表示されている例
（ナトリウム）×2.54＝（食塩相当量）

工業団地拡張計画における面積規模は

東部工業団地は2～4ha程度を目指しています

牛尾雅一

問　町の活性を図るには「福崎インターチェンジ」をもつ最大の利点を活かし、工業団地の拡張が最も有効と考え、今までに何回となく質問した。今回の都市計画マスタープランの改定で示されている拡張部分の場所・規模・時期は。

まちづくり課長　東部工業団地においては、おおむねの位置はイーストパーク北西です。検討地は農振農用地のため2～4ha程度を目指しています。市街化調整区域への拡張には多くの法規制があるため、時期については明記出来ませんが鋭意関係機関等の調整を進めます。

問　播但線では多くの遠距離通勤者の利用がある。早朝に一便だけでも、姫路での乗り換えなしで、京阪神方面への新快速電車を走らせることはできないか。

この提案が実現すれば乗降客数が増加し、将来的には定住・移住人口の増加も考えられる。播但線や福崎町の活性化に大きく役立つと考えるが、どうか。

まちづくり課長　実現すると利用者の利便性の向上や乗降客数の増加に繋がりますので、福知山支社との協議の機会に提案していきます。

問　人口減が著しい地域で、親元近くに新たに住む居住者への支援は。

まちづくり課長　財源確保を図りながら、子育て支援を中心とした人口維持のために施策を検討し、スピード感を持って進めていきます。

東部工業団地の拡張検討地

平成２７年度政務活動費の収支状況を公表

（単位：円）

氏　名	収入額（申請額）	支出額	残　額（戻入額）	主な支出
石野 光市	0		0	（申請なし）
牛尾 雅一	120,000	74,500	45,500	財政関係講習受講費
釜坂 道弘	120,000	92,601	27,399	遠野市視察費
北山 孝彦	120,000		120,000	（全額返戻）
小林　博	0		0	（申請なし）
志水 正幸	120,000	77,571	42,429	財政関係講習受講費
城谷 英之	120,000	83,868	36,132	遠野市視察費
高井 國年	120,000	83,867	36,133	遠野市視察費
冨田 昭市	120,000		120,000	（全額返戻）
難波 靖通	120,000	91,755	28,245	遠野市視察費
松岡 秀人	0		0	（申請なし）
宮内 富夫	120,000	87,906	32,094	遠野市視察費
三輪 一朝	※ 30,000	25,941	4,059	書籍購入費（自治法等）
山口　純	0		0	（申請なし）
合　計	1,110,000	618,009	491,991	

※三輪議員は平成27年12月に当選のため、収入額が異なります。

政務活動費とは

議員の調査研究に役立てるために必要な経費の一部として交付されるもので、申請した議員には一人あたり月額１万円が交付されています。交付を受けた議員は、収支報告書の作成及び領収書や研修報告書等の添付が義務づけられています。

昨年度の支出は、友好都市である岩手県遠野市への視察経費、財政等の研修受講に要する経費、地方自治や地方財政に関する書籍購入費等が主なものです。

また、支出状況について、監査委員が行う「定期監査」を受けましたが、指摘事項はありませんでした。

● 閉会中における委員会出席状況 ●

会議名＼議員名	難波靖通	山口純	三輪一朝	宮内富夫	石野光市	松岡秀人	牛尾雅一
議会広報常任委員会（6月24日）	―	○	○	○	○	○	○
議会広報常任委員会（7月5日）	○	○	○	○	○	○	○
議会広報常任委員会（7月19日）	○	○	○	○	○	○	○
議会広報常任委員会（7月25日）	○	○	○	―	○	○	○
議会広報常任委員会（7月28日）	―	―	―	―	―	○	○

会議名＼議員名	難波靖通	冨田昭市	城谷英之	志水正幸	小林博	北山孝彦	釜坂道弘
議会運営委員会（4月19日）	○	○	○	○	○	○	○
議会運営委員会（5月25日）	○	○	○	○	○	○	○

注1　「○」は出席、「―」は出席不要です。
注2　難波議員は、議長として出席しています。

定例会の日程

（9月）

2日（金）本会議（議案上程）
6日（火）本会議（質疑）
7日（水）決算審査特別委員会
8日（木）決算審査特別委員会
9日（金）決算審査特別委員会
12日（月）決算審査特別委員会
13日（火）総務文教常任委員会
14日（水）民生まちづくり常任委員会
15日（木）駅周辺整備対策特別委員会
21日（水）本会議（一般質問）
23日（金）本会議（一般質問）
26日（月）本会議（討論・採決）

※この日程は予定であり、変更となる場合があります。

町制施行60周年記念事業 “子ども議会”を開催

町制60周年を記念し、議会と町が協力して“子ども議会”を開催します。町内の小中学生14名が議員となり、子どもの視点から町政への質問や意見を述べる予定です。

普段なかなか足を踏み入れる機会のない議場ですが、子どもたちの真剣な姿が見られますので、多くの皆さまがお越しになり、応援していただきますようお願いします。

開催日　8月20日（土）
時　間　午前9時30分　開会（正午閉会予定）
場　所　役場3階　本会議場
備　考　役場１階ロビー・文化センター・八千種研修センターでも生中継をご覧になれます。

子ども議員からは、以下のようなテーマでの質問が予定されています。

食育、生活環境、人権、ボランティア、住民参加、もち麦、町民プール、交通安全対策、春日山城、福崎駅周辺整備、高齢者福祉、災害（地震）対策、観光（妖怪・もち麦）、農業（獣害）など

傍聴者からの声

６月22日の定例議会(一般質問)を、八千種地域を拠点に活動される「６Ｌ会」の方々が傍聴されました。当日はその他の方も合わせ、23名もの方が傍聴にお越しになりました。貴重なご意見が届きましたので、ここでご紹介します。

先日、第467回福崎町議会定例会を傍聴させていただき、今まで町会議員さんと町の幹部の方の様子をあまり知る事もなく月日が過ぎていましたが、今回質問議員のさまざまな問いに感心しました。

特に今、孫がお世話になっている幼児園の保育士さんの件や地震に対する防災、町税収入の減額、ふるさと納税等に聞き入りました。

少しでも福崎町が住みやすい町になるように我々町民も議会に関心を持っていきたいです。

（八千種・女性）

いつも議会だよりを拝読しています。この度実際の議会を傍聴する機会を設けて頂き感謝します。議場は緊張感が漂い思ったより狭く感じましたが傍聴席からの距離も近く、高低差もあり、とても見やすく臨場感がありました。

質疑応答はテレビの国会中継とは違い、大変スムーズに進んでいました。もっと色んな方の意見が飛び交うものだと思っていました。

選挙権も18歳からに引き下げられたことですし、学生にも傍聴の機会を設けられてはいかがでしょうか。

（八千種・女性）

編集後記

10代の頃ある女性から「親の意見と茄子の花は千にひとつも徒（あだ）がない」ということわざをよく聞かされた。茄子の花は、咲いたらそのほぼ全てが無駄にならず実をつけるそうで、親の意見にも何一つ無駄がないということを言いたいのだ。

若い時に理解できなかった価値観も、年を重ねることで理解できる瞬間がある。今は、このことわざを教えてくれた女性に感謝している。人は世代や生活環境によって価値観が異なり対立することもあれば、共有できる価値観もまた存在する。

自分の価値基準だけで物事を決める前に、色んな人の価値観を取り入れながら、無駄のない花を咲かせたいものだ。

（山口　純）

◆議会広報常任委員会
委員長　牛尾　雅一
副委員長　松岡　秀人
委員　石野　光市
委員　宮内　富夫
委員　三輪　一朝
委員　山口　純

ふくさき議会だより第139号
平成28年8月18日 発行

発行／兵庫県福崎町議会
編集／議会広報常任委員会
印刷／中井綜合印刷株式会社

福崎町議会へのお問い合せ、ご意見ご要望は下記へ

〒679-2280　兵庫県神崎郡福崎町南田原3116-1
TEL (0790) 22-0560　FAX (0790) 22-2342
メールアドレス：gikai@town.fukusaki.hyogo.jp/
ホームページ：http://www.gikai.town.fukusaki.hyogo.jp

福崎町議会 で検索できます。

この広報誌は再生紙を使っています。